



母子健康手帳交付時の「ネウボラ面接」がサポートの入り口です

多くの妊婦さんは妊娠が分かり、喜びや嬉しさがある反面、気になることや不安・心配事があると思います。

安心して妊娠・出産・子育てができるよう、母子健康手帳の交付時に保健師・助産師が全ての妊婦の皆さまと面接(ネウボラ面接)を行います。

そのうえで、「妊娠中の健康管理」「出産の準備」「家族やパートナーとの関係」などさまざまな相談に応じるほか、必要に応じて関係機関や子育て支援サービスを紹介し、一人ひとりに合わせた支援プランでサポートします。

**新・守山版
ネウボラ
創造
プロジェクト
が始動**

ネウボラとは? NEUVOLA

フィンランド語で“ネウボ(neuvo)=アドバイス”、“ラ(la)=場所”という意味です。フィンランドでは、妊娠期から就学まで担当の保健師が家族の健康を支援しています。これをもとに市では独自の「ネウボラ」に取り組みます。

～妊娠前から学齢期まで切れ目のないサポートを目指します～

☎こどもの育ち連携推進室・すこやか生活課 ☎・☎(581)0201 ☎(581)1628

市では、これまで保健師・助産師による新生児訪問や子育て相談など、妊娠期から乳幼児期まで、全ての赤ちゃんとお母さんを支援する「守山版ネウボラ」を展開してきました。今年度から、妊娠前から学齢期までに期間を拡大し、親子の育ちをサポートする「新・守山版ネウボラ創造プロジェクト」を進めています。保健・福祉・教育など各分野が連携して、子どもの成長段階に応じたさまざまな支援メニューを実施しています。

守山市が目指す子育て支援の将来ビジョン



「守山市子育てタウンアプリ」の配信がスタートしました

無料

子育てタウンアプリは、子育て支援・予防接種・市公共施設情報を提供するほか、成長記録などの母子健康手帳機能を持つアプリです。

マタニティカフェやわくわく子育て応援プログラムなど子育てに役立つ情報を年齢に応じて配信します。



- 子どもの成長を記録する
- 月齢に応じたイベント情報をゲット
- 子育て支援施設をマップで探す
- 予防接種の記録をする

App Store、Google Playからアプリをダウンロード

子育て応援アプリ「子育てタウン」で検索

App Store からダウンロード

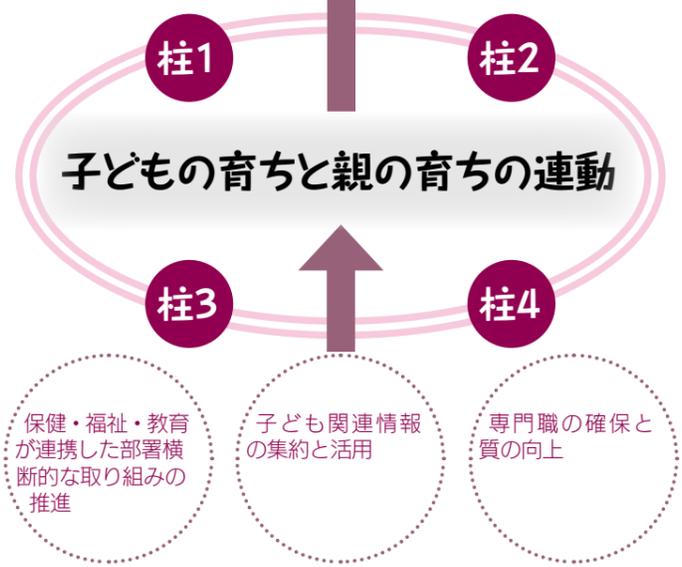
Google Play で手に入れよう

新・守山版ネウボラ創造プロジェクトの考え方と目的

子どもの生きる力の育成

家庭力の向上

子どもの育ちと親の育ちの連動



- 柱1 保健・福祉・教育が連携した部署横断的な取り組みの推進
- 柱2 子ども関連情報の集約と活用
- 柱3 専門職の確保と質の向上
- 柱4

新・守山版ネウボラが目指す4本の柱

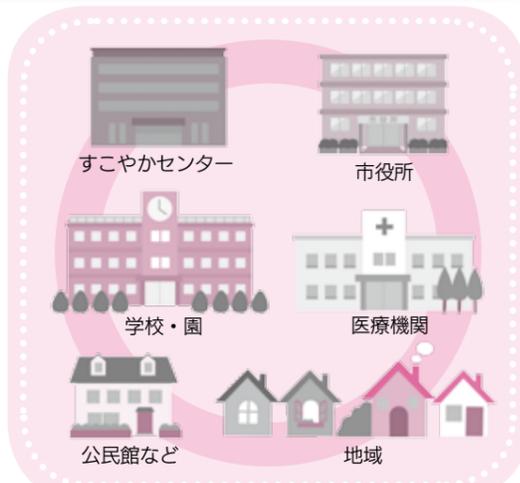


- 柱1 守山版ネウボラの推進
- 柱2 妊娠期からの切れ目のない親子教育の推進
- 柱3 効果的な子育て情報の発信
- 柱4 幼保小中の一貫した教育の推進

**保健・福祉・教育の各分野が連携して
家庭に寄り添いながら切れ目のないサポートを目指します！**

「初めての妊娠で出産や育児が心配」
「おうちで子どもとどうやって遊んだらいいのかな」
「子どもが友達とうまく遊べない」
「近くで子どもが参加できるイベントはないかな」
など、妊娠・出産・育児の悩みや不安に寄り添いサポートします。

- こころや身体、妊娠・出産・子育てなどについて、保健師や助産師などの専門職が相談や悩みをお受けします。
- すこやかセンターをはじめ、さまざまな場所で子どもの成長に合わせた各種教室や相談を実施しています。
- ライフステージに応じて、すこやかセンターや市役所、医療機関、学校や園、地域などが連携し、切れ目なくサポートしていきます。



妊娠前から学齢期まで、切れ目のない支援を行います

※主な事業のみを掲載しています。

★ネウボラ面接

★新生児訪問 (生後1~2ヵ月ごろ) ★こんにちは赤ちゃん訪問 (生後3ヵ月・1歳ごろ) ★4ヵ月児健診

★10ヵ月児健診 ★1歳6ヵ月児健診 ★2歳6ヵ月児健診 ★3歳6ヵ月児健診 ★就学時健康診断

1 妊娠前

2 妊娠期

3 新生児期

4 乳幼児期

5 学齢期

1

妊娠前には、風しんの予防接種費用の助成や特定不妊治療費用・不育症治療費用の助成を行います。

2

●ネウボラ面接

母子健康手帳の交付とともに、お母さんの心身の状況や家庭状況についての聞き取り面接を行い、必要な支援について検討し、支援プランでサポートします。

●マタニティカフェ(新)

プレママサロンを拡充した妊婦さん対象の教室です。カフェスタイルでほっこりしながら、妊娠、出産についての詳しい知識や育児の実用的な情報を得ることができます。また、育児体験を通して、産後の生活のイメージを持ったり、妊婦さん同士の交流を通して情報交換もできます。

パパや上のお子さんも参加できるよ。



©2012 ASUKOE Partners, Inc.



●新生児訪問

助産師または保健師が自宅に訪問し、生後60日程度までの赤ちゃんの体重測定や育児相談、お母さんの産後状態などに関する相談を受けます。



●産後のリフレッシュ教室(新)

産後のお母さんの心身をリフレッシュするために、産後ヨガを行っています。



●子育て講演会

幼児教育や児童発達に関する専門家が子育てに関するポイント・アドバイスなどを伝えます(令和2年2月開催予定)。

3

●乳幼児健康診査

お子さんの病気の早期発見・早期対応および健康保持・増進のために、身体計測、問診、医師の診察、保健指導などを行います。

●わくわく子育て応援プログラム(新)

子どもと一緒に楽しみながら子育てのポイントが学べる連続講座です。

「身体をしっかりと動かす」「息をしっかりと吹く・吸う」「目を合わせて声を出す」など、保育士、保健師、歯科衛生士などが家庭でも実践できる発達を促す遊びを、専門的な視点で解説し、紹介します。市内7公民館で開催される「親子ほっとステーション」の中で実施しています。



●親子体操教室

親子で一緒に学べる体操教室を実施します(11月開催予定)。

4

みんなに見守られながらすこやかに育ってね

5

●アンケートの実施

5歳児の保護者や小中学生とその保護者に定期的に子どもの育ちについてのアンケートを実施し、政策形成に活かします。

●リーフレットの作成

こどもの育ち連携に関わる市の取り組みをまとめたリーフレットを作成します。

●1・5交流、5・5交流の様子

小学校入学前の5歳児と小学1年生や5年生とが交流し、入学に向けた滑らかな連携を図っています。



1・5交流の様子



5・5交流の様子